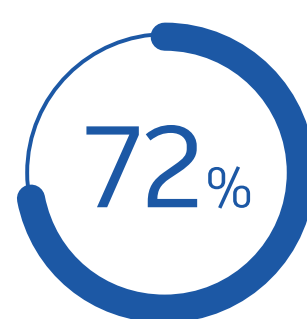


ゼネコン向けロードマップ： デジタル コンストラクション

建設プロジェクトがますます複雑化している今、ゼネコン各社は新たなワークフローを導入しています。

昨今では、建設プロジェクトにおける計画と設計のフェーズはしばしば同時進行されるようになってきました。ゼネコンは、そうしたワークフローに対応してデータをしっかり把握する必要があります。そこで役に立つのが**共通データ環境 (CDE)**です。CDE を構築すると、プロジェクト ライフサイクルに携わるすべての関係者に、次のようなメリットがもたらされます。

- 現場での手戻りが低減し、品質が向上
- プロジェクトのスケジュールやコストの管理能力が高まる
- 他社との差別化による競争力強化で案件の受注率が増加



全世界の建設会社のうち **72%** が、デジタル トランスフォーメーションを重要な優先事項としています

(IDC/Autodesk のレポート)



デジタル デリバリーを全面的に導入したところ、チームに大きなメリットがもたらされました。最大のメリットのひとつは、最終的に高品質な成果をクライアントに納品できることです。現場での手戻りも減り、設計から納品、引き渡しまでの全フェーズが、スムーズに進むようになりました。

— Ger Hayes 氏

John Sisk & Son 社 プロジェクト ディレクター

デジタル コンストラクションへ移行して、 成果を高める重要なプロセスを導入しましょう。

2D CAD から 3D BIM ワークフローへの移行

モデリング、コーディネーション、干渉検出に 3D ツールを使用することで、複雑な問題を解決できます。建設会社は、次のような計測可能な成果を達成しています。

- 手戻りにかかる時間やコストを削減
- モデルの施工性を改善
- プロジェクト利益の予測精度を向上
- スケジュール期間を最適化
- 正確かつ効率的な入札で、プロジェクト受注率が増加



Fortis 社は、設計中の干渉箇所を施工前にデジタル モデル上で解決できました。手戻りが生じた場合は **20 万ドル** を超える莫大なコストがかかっていたところでしたが、これを回避することができました。

Mace 社は、設計チームの作成した Revit BIM モデルを統合するプロセスを自動化することで、モデル管理にかかる時間を **1 週間につき 440 分** からたった **10 分** までに削減し、全体的な設計時間を **98%** 短縮することに成功しました。

クラウド上の BIM ワークフローでコラボレーション

共通データ環境でチーム、ツール、プロジェクト データをひとつに連携することで、次のことを達成できます。

- 自動化された効率的なワークフローで、全体的な設計時間が短縮
- 関係者間の効果的な連携で、クライアントの満足度が向上
- 質の高いドキュメント管理で、引き渡し後の運用性が向上

デジタル コンストラクションへの移行を始めましょう

オートデスクは設計分野で広く信頼されるパートナーです。エンドツーエンドのソリューションによるエコシステムを提供し、建設プロジェクトを成功へと導きます。

Revit、AutoCAD、Navisworks などをはじめとするオートデスクの BIM および CAD ツールと Autodesk Construction Cloud を組み合わせることで、建設フェーズ全体にわたりシームレスにデータを連携できます。

